



耳

全作品と講評

www.columnland.net



知らないうちに時は経って
 愛はたしかに成長したから
 私が気付いた大切な四文字
 せめて耳元でささやかせて

ケモミミと僕

みなさんは「ケモミミ」というものをご存じだろうか。今回は「ケモミミ」について語る。まずケモミミとは何か説明しよう。

ケモミミとは「獣の耳」の略称であり、「獣耳」「ケモ耳」とも呼ばれる。ケモミミは猫耳、ウサ耳など、人型キャラクターの頭頂部ないし側頭部に獣の耳をつける、あるいは元の人間の耳と換えることで動物的な可愛らしさや野性味などをキャラクターに付加することができる。また、元となる動物のイメージからキャラクターの性質を連想させる効果を持つこともできるのだ。

ケモミミの説明はこれくらいにしよう。結局僕が何を言いたいのかというと「ケモミミはかわいい」ということだ。そのため僕がケモミミを好きになった成り立ちを話そう。

僕は元々小さいときから動物が大好きだった。特にフワフワした毛並の動物が大好きだった。現在も僕はトイプードルを飼っているのだが、実にかわいらしく、癒される、きゅんきゅんする。そんなある日、僕はケモミミのイラストを目撃してしまった。見た途端一目ぼれである。こんなかわいいものを見たことがない、そう思った。かわいらしい女の子の頭にもふもふしたかわいらしい耳が付け足されることでかわいさが二倍、いやそれ以上になるのだ。あまりにもかわいらしすぎて、つい画面の向こうに行きたくなってしまふ、そんな少し危険なイラストでもあった。

僕がケモミミの中で最も好きなのは、やはりネコミミである。ネコミミはケモミミの代表格であり、ケモミミといったらネコ

ミミ、と言われるほどの定番ものだ。猫の耳を付けた女の子に「にゃん」とでも鳴かしてみろ。たちまち僕は僕じゃなくなってしまうだろう。ああ、なんと恐ろしいことだろうか。

しかし、今まで僕が見てきたものは「2次元の絵」なのである。実際に存在する女の子にケモミミがついていてもかわいいのではないか、と思い、画像、映像を探してみた。が、どうもしっくりこないのだ。たしかにかわいいが、何かが違う・・・そんな気がした。このなんとも言えない気持ちはなんなのか、考えてみることにした。

そして、あることに気付いた。実在する女の子たちがつけているケモミミは、作り物なのだ。実際に頭から生えているわけではなく、カチューシャなどで頭に耳を取り付けているのだ。なるほど、作り物とわかっていたから、興奮できなかったのか。

では、実際の女の子から本物のケモミミが生えていたらどうか。それはそれで怖いものを感じる。もしそんな人に出くわしたら、僕はその現実を受け入れられず、パニック状態に陥ってしまうだろう。その点、2次元のケモミミはとてもかわいい。現実ではありえないことを2次元は何の違和感もなくやり遂げてしまうのだ。なんとすばらしいのだ2次元は。僕は「ケモミミは2次元だからこそ良い」という結論に至った。

ここまで読んでみて、読者のみなさんにはケモミミの良さは伝わったのだろうか。僕はこれを読んで少しでもケモミミが好きな人が増えることを心から願って止まない。

世界聴力選手権

ルール

離れた位置から聴こえるAとEの音源の識別を行う。
音源を次第に遠ざけていき、最終的な到達距離を競う。

現代に生きる最強の魔術師

壁に耳あり、障子にメアリー☆

マギー

VS

メアリー

…答えは……「D」

(もう限界が近い。だけど、おそらく相手もうきついはず。次で勝負を決めるわ…)

ふっ、甘いぞメアリー。見せてやろう。俺の本気を……

奥義「びつくりして耳がでつかくなつちやった」！答えは「B」だ！

そ、その技は……禁断の耳魔術!?

マギー！あなたは、悪魔に魂を売ってまで勝とうと言うの!?

自分の耳を仮眠状態にし、水をかけることにより発動可能な最終奥義。一時的にだが耳のサイズを大きくして、より遠くの音を聞き分けることができるようになる。

綺麗ごとを言うだけじゃ勝てないのだよ。わかるかい？メアリー！
ほうら、お前の敗北の音が聴こえてきたぜ。

(くっ、いったいどうすればいいの……ここまで来て……このまま負けるなんて、絶対に嫌っ！)

(落ち着くのじゃメアリー。)

(その声は……お爺ちゃん……?)

(聴力というものは非常にデリケートな感覚じゃ。精神にブレが生じると、聴こえるものも聴こえなくなってしまう。ヤジ、卑劣、異常、互り、そういったものに流されてはいけぬ。そのための精神力はもうすでに持っているはずじゃ。自信を持って戦いなさい。爺ちゃんも天国から見守っておるぞ。落ち着いて頑張るのじゃ。)

(お爺ちゃん……ありがとう……)

はっはっ！降参するなら今のうちだぞお？

答えは「E」

なっ……なぜだ！……貴様、なぜ答えられる!?

もう周りには惑わされない、取り乱さない、諦めない、負けない。これがお爺ちゃんから授かった私だけのセルフマインドコントロール術。

ノイズ・キャンセリング
奥義「馬耳東風」

「生活」

上京して間も無くの頃、俺は非常に貧しい生活を送っていた。家賃三万のボロアパートに住み、昼は漫才の練習、夜は週五でバイト。芸人になる事を反対され親と縁を切った俺に仕送りなんて代物は無かった。どんなにバイトを頑張って節制に努めても、給料前はいっだって一文も残らなかった。

食べ物も金も全く無い、どうしようもなくなった時、最後の頼みの綱が「パンの耳」だった。近所のパン屋の主人が、余ったパンの耳を無料で俺にくれていたのである。元々は近所の小学校で飼われているウサギの餌だった。しかし俺が死にそうだったのを見かねてか、ある日、そのパン屋付近をふらふらと歩いていたら、店主の息子に呼び止められ

「これやるから、死ぬなよ。」

と言われ袋一杯のパンの耳を貰ったのが始まりだった。小学生のガキにそんなことを言われたのでその時は癪に障ったものだが、それ以来毎月、月末は死にそうになりながら貰いに行っていた。今思えば俺はとても厚かましい男だったが、店主はいつも笑顔でパンの耳を分けてくれていた。

数年後、俺は到来したお笑いブームに何とか乗ることができた。あの時パンの耳を貰えなかったら、俺は何処かで野垂れ死んでいただろうが、そのお蔭で、二十年経った今、俺はベテラン芸人としてどうにか、それなりに上手くやっている。女房と子供もでき、親とも和解をした。家賃三万のアパートを離れ、今やマイホームを持っている。

もちろん今もパン屋には足繁く通っている。劇場から自宅まで帰る途中、遠回りになっても毎週一回は必ず行き、サンドイッチをたくさん買ってから帰る。あのころ住んでいた町はずいぶん変わってしまったが、パン屋は姿を変えずに営業を続けていた。ただ一つ変わったと言えば、店主が変わった事だ。優しかった先代の店主が引退し、あの憎らしかった息子が今は立派に仕事を継いでいる。

今日も帰りにこのパン屋に来て、いつも通りサンドイッチをたくさん買った。本当なら二十年ぶりに、あのパンの耳を貰いたいのもだが、まあ無理だろう。それなりに名前が売れている身分でそういう事をするとは面倒な事になるし、店主にも色々イジられそうだ。

そして何より、今もパンの耳を必要としている人がいる。

丁度その男がジャージ姿でパン屋にやってきた。いつものようにパンの耳を貰った後、俺を見て元気に一礼してから彼は店を出て行った。彼は事務所の後輩だった。彼は貧乏ながら毎日養成所に通って、健気に頑張っている。なかなかセンスもあり、あと数年で爆発的に売れるのではないかと、期待している。いわば自分の中の注目株である。

家賃三万のボロアパートに入っていく彼を見ながら、「がんばれよ」と呟き、俺も家に帰る事にした。

ささやき

耳「なー、耳と口ってさ、どっちがえらいと思う？」

鼻「あー…、まあ耳じゃね？ 耳ないと言葉話せないじゃん。」

耳「なーだよなっ、やっぱ耳だよなっ！ てか最近さ、口がめっちゃえらそうでさ、もうさ、

口とか無視しない？」

鼻「あー…、うん。」

口「最近さ、耳がなんか冷たいんだけど。まじあいつ調子のとてるよね。

てか、やっぱ耳より口のほうが大事だよな？ 立場的に。」

鼻「あー…、まあ口だよね。口ないとおいしいもん食べれないしね。」

口「ねーね！ そこだよね。そもそも俺たちが構成されてるのって口あつての話なんだ

よね。そこだよね。まじ耳わかってないよね。」

鼻「あー…、うん。」

鼻「…なあ……俺ってさ、何なのかな……」

目「……………鼻。」

——これから話すのは、とある晩のこと、高校生の俺新巻颯太が出くわした、驚くべき出来事だ。

寝耳に

女の子ッ！

フウツ。フウツ。耳に強い風が当たって、俺は目が覚めた。

「一体何なんだよ、俺の安眠を邪魔するのは……」
時計をちらりと見たら午前三時頃だった。彼岸が過ぎ、肌寒くなってきた今日この頃、もはや窓を開放して寝るなど選択肢にないし、強風が耳にあたる状況は起こりえぬのだが……

「あつ、起きた起きた〜！」

そういったのは……いきなり現れた、パツと見同い年くらいの見知らぬ可愛い女の子だった。

「な、何者だよお前ッ！しかもどっから入ってきた!?」

「いきなり起こしてごめんね〜。ところで、彼女いるの?」

「え?俺?てか、まず俺の質問に答えろよ!」

「え〜、いーじゃないーじゃん答えてよ〜」

俺はその女の子があまりに可愛いので完全にテンパっていた。何これ?フラグ立ったのか!?彼女がいるとか見栄はつたらがっかりするかな?てかこのシーンまるで漫画だろ!俺はドギマギしながらもありのままを言うことにした。

「い、いませんけどオ。」

「アハッ、やつぱりいないんだ!まあパパじゃどうせそんなところだと思うたのよね〜。」

「るせえやい!ほっとけ!……つてえ!」

「パパ?は?どういうこと?」

「あたし数十年先の未来から来た。パパの娘なんだ!愛娘だよ愛娘!」

「わけわかんね。お前が俺の未来の娘だって?うさんくさ……」

「あ、さては似てないと思ったでしょ!?あたし、

パパのいいとこだけ受け継いでるから!」

なんか遠回しにデイスられた気がする。ああそうですよどうせ俺はクラスのB級イケメンですよ。褒められもけなされもしない。

「てかなんでそもそもここに來れるんだよ。タイムマシンか?」

「うーんそのようなものかな。時間旅行が最近可能になってね。私の専門外だからよくわかんないけど相対性理論による限界を突破する……」

あー俺は文系だから理論的なことを聞くのは頭が痛い。とりあえず今の科学の常識はいろいろとブチ破られちまってるらしい。

「もういいもういい。ところで何故お前はここに來たんだ。」

「あ、そうそう。あたしが彼氏を家に連れ込んだことでパパと口論になってね、パパが『俺はモテモテだったがそんな不埒なことはしなかったぞ!』とかほざくからあ、調べに來たの。やつぱりあの時パパひがんでたんだねー(笑)」

それだけかい。つてか、こいつ喋る度に俺の気に障ることをこう憚りもなくズケズケと。こんな生意気な奴が俺の娘なのか……

「そんじゃ、あたしの用は済んじやったから。そうそう、あたしなんだかんだ言つてパパのこと好きだからね。じゃあバイバイ!」

そう本気でドキドキさせるようなことを言つて、俺の娘とやらは窓から外へと消えていった。

翌朝、友達との高校への通学路で。

「どうした、新巻。顔色悪いぞ。」

「え?い、いやあ、なんでもないよ。」

そりやそうだ。あの後ずつと興奮してて眠れなかったんだから。

しかし可愛いかったなあ俺の娘とやらは。一時実の娘と本気でワンチャンあると思っていた俺が情けなくはあったが、俺はなんとなくいろいろな意味で未来に希望が持てるようになってきた。

奇跡の耳栓！

これであなたも幸せに！！

今回紹介するのは、耳栓「シャットアウト」。この商品はすごいんです。

先生や上司からの長くて辛いお説教、喧嘩している時の相手の暴言も完全にシャットアウトできてしまいます。嫌な言葉を聞かなくて済むので、自分の機嫌が悪くなることはありません。しかも、相手には耳栓が見えないようになっているので、自分のことを無視されているとは思いません！

日々の生活で嫌な事を聞かされることの多い現代社会人の皆さん、この耳栓を利用して毎日がとても楽しい生活になるようにしてみてもいいかがでしょうか。

利用者の声

夫婦の間で口喧嘩することが多くて日々のストレスになっていましたが、これで夫の言う罵詈雑言を聞かなくて済んでほっとしています。これをつけてから日々の生活がとても楽しくなりました。ありがとうございます！シャットアウト

(40代 主婦)

学校では授業中先生から理不尽に怒られてばかりで、部活中も先輩に嫌味しかいわれない。こんな日々とうんざりしていましたが、シャットアウトに出会って僕の人生が変わりました。今まで苦痛だった嫌味を聞かなくて済む！日々がとても楽しくなりました。シャットアウトは僕の命の恩人です。

(10代 学生)

利用者はどんどん増え、ついに販売台数100万台を突破しました！このことを記念して、今回は大幅に値段を下げ、両耳セットをなんと500円で販売したいと思います！送料も無料です！本当に500円だけで幸せな生活がやってくるのです。この機会にぜひ、お買い求めください！

ご注文・お問い合わせは

いやみは バイバイ

馬の耳に念仏堂 電話 03—1838—8181

皆さまのお電話をお待ちしております。

友人宅にて

「硬い物や軟らかい物等色々な種類があるけれど、キミはどんな耳が好き？」

新しく買ったアニメのBDと一緒に見ようと誘ってきた友人の部屋でそんな質問をされた。どんなみみか……

「んー。強いて言うならば、デニッシュ系のみみが好きかな」

デニッシュ生地が焼きたての時のあのサクサク感は、食べにくいという一点さえ除けば完璧としか形容ができないであろう。異論は認めない。

「……はあ。そういえばキミはそういうヒトだったな」

む、馬鹿にされた気がする。

「貴様、デニッシュの完璧としか言えないサクサク感を馬鹿にするつもりか？」

「そういう訳ではないさ。寧ろ馬鹿にするのはキミの事。そもそも、パンのみみという表現は食パン以外では——少なくとも私の地元では——使わないと思うのだけれど、キミの住んでいた地域では食パン以外にも使っていたのかい？」

「デニッシュを馬鹿にしているのなら構わない。取り乱してすまなかった。考えてみると、地元でもボク以外誰も使っていなかった様に思われるな。しかし食パンのみみは、焼いたときに型と接触していたから茶色く変色した部分だけではなく山型パンの凸部も指すのだから、パンの表面で変色した部分全体を指しても何ら問題はないと思うのだけれど」

「ふむ、なるほど。キミの考えからすると、小学校の給食の時間に食パンのみみだけでなく、ロールパンの茶色い部分も食べなかった芳一君は、パンのみみそのものが苦手だったのだろうね。その発想は無かった」

納得してくれたようで何よりだ。

「デニッシュのサクサクが至高のみみだというキミの主張はわかったが、私的にはメロンパンのカリモフのカリの部分こそ至高のみみだと思うのだけだ」

「これだからわかっ！そのそもメロンパンとは、メロンを用いたパンではなくてパンにクッキー生地を乗せて焼いた、形がメロンつばいだけのパンだろうに。すなわち、カリの部分はクッキーであるからみみではないのだよ。強いて言うのなら、メロンパン底部のクッキー生地に覆われていない部分がみみだね。あんな部分にデニッシュが負けるわけがないのさっ！」

「そ、そうか……悪かった」

思わず熱くなって言葉を途中で遮ってしまった。若干引かれているが……気にしたら負けだと思ふ。

「話を戻そう。次のイベントに出す薄い本で相談したいことがあったんだ。私的には狐耳×猫耳だと思うんだが、キミはどうおもう」

「貴様、何を考えている！これだからわかっは困るんだ！」

この後、気づいたら夜中まで語ってしまっていた。お恥ずかしい限りだ。

この音が聞こえますか

実はもう音を鳴らし始めているのですが聞こえますか
えっ聞こえないですか

耳に障害がなければ聞こえるはずなんです

残念ですが

あなたにあなたの計報をお伝えします

じゃあこの音が聞こえますか

さっきの音と違いがわかりますか

こっちの方が聞きやすいですよ

この音を聞いていると

眠くなってきました

寝ないでください

次はこれです

ごめんなさい

これは一番最初の音でした
ねこれです

これはうるさい音です

不快です

イライラします

何か言いたいことがありますか
こんなことさせてなんになるか
紙から音が聞こえるわけ無い
そんなこと言われましても

このテストは

あなたに喧嘩を売るためですから
紙から音を鳴らせる訳無いだろ
聞こえた人さまあ

真夜中に耳を傾けて

枕元の窓

寒いけど少し開ける

ろキロ向こうの喧騒
カタンカタンと終電
上空を切るエンジン
ザワザワと庭の木

真夜中の和音に
耳を傾けて

おやすみなさい

コンテスト結果

コラム番号	コラムタイトル	点数	順位	特別賞
		まじょコメント		
01	無題（しあわせ）	16 pt	1 位	2 sp
		大切な四文字？ あ、しあわせね、と気づくまでにちょっと時間がかかります。 その間（ま）が、ゆっくり気づくという本文の内容とシンクロして、ふわっとしあわせ感が行間から広がります。気づかなかった作者班は反省っ！ 物語の扉のような、情感ゆたかな今週の表紙、みごと首位に輝きました。イチオシフリーズ大賞も同時受賞、おめでとう!!! 表紙伝説は続くのか？？ 特別賞：しあわせ賞 from D班（こっちまでしあわせになれそうです。） 私が気付いた賞 from H班（ヨコガキがひそんでいたから） イチオシフリーズ：「私愛知」「知愛私せ」「しあわせ」		
02	ケモミミと僕	3 pt	5 位	0 sp
		正統派見参！ と見せて……ん、ケモミミい〜？？ 二次元愛トークまっしぐらなのに、ちゃんと抑えて、読者をおいてけぼりにしない配慮も心にくいワザ師さんです。 託されたメッセージは、「自分に正直に生きよう」だったのかな、と深読みしてみました、さて？		
03	世界聴力選手権	2 pt	8 位	3 sp
		マギー、障子にメアリーから始まって、次々繰り出されるワザの名前まで、ネーミングセンスの秀逸さが光ります。 このネーミングのおかげで、ぶっとび設定のバカバカしさ倍増、上々のエンターテイメントで最多特別賞を獲得です。おめでとう!! 「茶葉二倍のほうがおもしろかったなあ」という囁きがどこからか聞こえてきたのはナイショです。 特別賞：爆賞 from A班（www（笑）） 少年誌賞 from C班（少年誌臭がするから） 縦縞から横縞で賞 from I班（師匠からマギーにプレゼント☆） イチオシフリーズ：「障子にメアリー☆」「馬耳東風（ノイズ・キャンセリング）」		
04	生活	11 pt	3 位	0 sp
		パンの耳に託して、まさにハングリー精神のかたち。どん底の修業時代から、恩返しの今に至るまで、ライフヒストリーをきっちり描写しきってリアリティ抜群の仕上がりです。 ネタやら二段組やらを押しのかてのブロンズメダル獲得、おめでとう！ ただし、20年経ったら、家賃の相場は変えましょう。いかに低成長時代とは言え。		
		9 pt	4 位	1 sp
		どっちがエライ？ 幼稚園児からオトナまで、みんなが持つてささやかな競争心を器官に演じさせてみた		

05	ささやき	ら、こんななっちゃいました、という感じで、くすくす楽しく眺められました。 聞き役になっちゃった鼻くんのキャラがかわいい。 でも、隠し漢字が「囁」だったなんて、それは気付きませんか。 特別賞：せつないで賞 from G班（せつないから） イチオシフレーズ：「・・・・・・・・・・鼻」
06	寝耳に女の子ッ！！	0 pt 9 位 1 sp ディスるにワンチャン、Wordさんが（まだ）知らない言葉を散りばめたライト気分の語り口で、ほんのり希望を持たせる甘い未来。さくさく読める、いごちのよいストーリーです。 女の子が、もっと未来っぽく、ちょっとズレた語り口だとまたおもしろかったのでは。 特別賞：お医者さんに行きま賞 from B班（後に過ちをおかさないよう今のうちに言うておきます。） イチオシフレーズ：「寝耳に女の子ッ！！」
07	奇跡の耳栓！これであなたも幸せに！！	3 pt 5 位 1 sp 500円って、それただの耳栓ちゃうの？なんていうツッコミも馬耳東風に突っ走った、とても勢いのあるセールストークです。 商品をPRしているようでいて、じつはドンマイで行こうぜと人生の生き方をPRしているようでもあり。 あふれるポジティブ気分に二重丸。地名から離陸した彼の今後に期待です。 特別賞：馬の耳に念仏堂は利用者の声をきかないで賞 from F班（そのまま） イチオシフレーズ：「いやみはバイバイ 03-1838-8181」×2
08	友人宅にて	0 pt 9 位 0 sp 耳について尋ねたらデニッシュで熱く返してくれる友人がいたら □ うれしい □ イヤだ 前者のかたにはどっぴりと親近感、後者のかたにはそこそこに傍観者気分を味わっていただける、つまりは全方向おいしいシーンのお届けです。 ふむふむ、「これだからにわかっ！！」というフレーズが出現したら身構えれば良いのね。了解。
09	この音が聞こえますか	3 pt 5 位 1 sp えー？？たいせつな読者さんにケンカを売るのはどうなの？と思わなくもなかったのですが、その売りかたのシュールさでTAさん大ウケ。 ツボに入った人だけ、おめでとう、そうでない人ざまあ、という、とんがった方向性で攻めてくるなんて、なかなかの策師さんです。 特別賞：苦笑 from E班（いろいろ残念だから） イチオシフレーズ：「聞こえた人ざまあ」
10	真夜中に耳を傾けて	13 pt 2 位 1 sp ラストはしつとりと。 聞き慣れた音が聞こえてきて、そのことで、全くの静寂よりも、真夜中の静けさが心安らぐ眠りの前の気分に寄り添ってゆきます。 「上空を切るエンジン」という何気ないフレーズが、なんだか心に残る今週の読み納めでした。おめでとう

シルバー・メダル、そして、おやすみなさい。
特別賞：世界聴力選手権優賞 from J班（6キロ離れて
るのに聞こえるだと）